

2014年度

U 世界史問題

注 意

- 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
- 解答用紙はすべてH Bの黒鉛筆またはH Bの黒のシャープペンシルで記入することになっています。H Bの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI～IIIとなっています。
- 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
- 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
- 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
- この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとて採点する方法です。

- マークは、下記の記入例のようにH Bの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
- 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
- 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I . 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

「アジア四小竜」とも称される韓国・台湾・香港・シンガポールは、いずれも第二次世界大戦後にめざましい経済発展を遂げた地域である。これらの国・地域が発展した共通の背景として、当時の国際情勢を挙げることができる。

アメリカは、高関税が世界恐慌の一因となったことや、ブロック経済化への反省にもとづいて、第二次世界大戦末期から自由貿易体制の確立をはかった。また、冷戦の中で、アメリカは共産主義の拡大に対抗するため、同盟諸国に対して積極的に技術提供を行った。

大戦での被害が相対的に少なかったアメリカは、戦後圧倒的な経済力を誇った。大衆消費社会は大きな商品需要を生み、アメリカの輸入額は飛躍的に増加した。日本やヨーロッパが戦後復興を実現すると、これら先進国の大企業は市場の需要を満たすために、世界各地に進出し、資本を投下して生産活動を行うようになった。「アジア四小竜」は、人口が少なく面積も小さく、市場規模の小さな国・地域であったが、税の優遇などの措置によって外資を導入して工業化を進め、製品を日本や欧米の大市場に輸出することにより、経済発展を実現したのである。

「アジア四小竜」は、1970年代までいずれも経済発展を優先する政策をとり、民主的な政治体制をとっていなかったが、その後一部の国においては民主化が進展した。

朝鮮戦争によって韓国は大いに疲弊したが、1961年のクーデタで韓国の政権を掌握し、後に大統領に就任した（イ）は、「漢江の奇跡」とも称される経済発展を実現した。他方、民主化運動は厳しく弾圧された。1979年、（イ）が暗殺されると、「ソウルの春」と呼ばれる民主化運動が盛り上がったが、1980年、軍部の全斗煥らが、徹底した弾圧によって運動を鎮圧し、政権を掌握した。しかし、その後再び民主化運動が起り、1987年には16年ぶりに大統領の直接選挙が実施された。その後、韓国は周辺国との関係改善や国際社会での地位向上を実現し、民主主義体制を定着させることに成功した。

共産党との内戦に敗れ、1949年に台湾に逃げ込んだ国民党の蒋介石が率いる中華民国政府は、引き続き自らが中国の唯一の正式代表であると主張し、北京を首都として成立した中華人民共和国と対立していた。蒋介石は共産党政権との再度の戦いに備えることを口実に、戒厳令をしいて自らに権力を集中させ、民主化運動に厳しい弾圧を加えたが、1972年に日中国交正常化に伴い台湾は日本との国交を失うなど、周辺国との関係悪化に直面した。これを受けて、台湾では徐々に民主化が進められ、1987年には戒厳令が解除された。また、1996年には初めて総統の直接選挙が実現した。2000年の総統選挙では、民主進歩党（民進党）の（ロ）が当選を果たし、初めての政権交代が実現した。

英領植民地であった香港は、香港島、九竜半島南端と、1898年の条約でイギリスが清国から租借した（ハ）と呼ばれる地からなる。1941年から香港は日本軍の占領下に置かれたが、日本の降伏後、イギリスがその統治を回復した。その後、香港には中国の政治的混乱¹⁴⁾を嫌って多数の難民が流入した。プロレタリア文化大革命¹⁵⁾の時期には香港でも大規模な暴動が発生するなど、彼らは故郷である中国の政治には深い関心を寄せたが、香港の民主化を強く求める者は少数であった。しかし、1984年に香港の中国への返還¹⁶⁾が決まり、1989年に天安門事件¹⁷⁾が発生したこと、香港の将来への懸念が高まり、大規模な民主化運動が展開された。

シンガポールは香港と同様に19世紀にイギリスによって植民地化され、第二次世界大戦中の日本による占領統治を経て、戦後は再びイギリス植民地となった。その後、1963年にマレーシア連邦の一州となつたが、1965年シンガポールはマレーシア連邦を離脱し独立国¹⁸⁾家となつた。東京都の三分の一ほどの面積の都市国家が独立を維持し、生存を続けるために、人民行動党を率いる（ニ）首相は労働組合・学生運動・マスコミなどを管理する権威主義的な統治の下で強力に経済成長政策を推し進め、独立から1990年まで首相の座にあり続けた。

A. 文中の空所(イ)～(ニ)にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次のa～dから1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- | | | | | |
|-----|---------|---------|---------|-------------|
| (イ) | a. 李承晩 | b. 盧泰愚 | c. 盧武鉉 | d. 朴正熙 |
| (ロ) | a. 胡耀邦 | b. 陳水扁 | c. 馬英九 | d. 李登輝 |
| (ハ) | a. 威海衛 | b. 広州湾 | c. 膠州湾 | d. 新界 |
| (ニ) | a. スカルノ | b. スハルト | c. マルコス | d. リー=クアンユー |

B. 文中の下線部1)～19)にそれぞれ対応する次の問1～19に答えよ。

1. 「アジア四小竜」やブラジル・メキシコ・アルゼンチンなど、急速な工業化に成功して高い経済成長率を実現した地域を総称して何と呼ぶか。その名をしるせ。
2. 世界恐慌は1929年10月のニューヨーク株式市場の株価暴落から始まったが、証券取引所や金融機関が集中するニューヨークのマンハッタンにある地区の名をしるせ。
3. 1932年に開催された、恐慌克服のためにイギリス連邦がブロック経済方式を採用することを決定した会議の開催都市の名をしるせ。

4. 世界銀行や国際通貨基金の設立を決定するなど、戦後の国際経済体制の枠組みを定めた1944年の連合国代表による会議の名をしるせ。
5. 米ソ冷戦に関する出来事 a ~ d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- 北大西洋条約機構が成立した
 - キューバ危機が発生した
 - マルタ宣言が調印された
 - ワルシャワ条約機構が成立した
6. ヨーロッパの戦後復興を支援するマーシャル＝プランを受け入れるため、1948年に西欧16か国が結成した組織の名をしるせ。
7. 発展途上国の一地域が経済発展を実現した一方、経済発展に成功しない発展途上国が存在するため、発展途上国の間に大きな経済格差が生じた問題を何と呼ぶか。その名をしるせ。
8. 朝鮮戦争に関連する記述として正しいものを、次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- 中国は人民解放軍を派遣して朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）を支援した
 - 朝鮮戦争の勃発前に、日本では G H Q の指令により警察予備隊が発足した
 - 朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）が北緯38度線をこえて南に侵攻したことを契機として、朝鮮戦争が勃発した
 - 当時中国は国連安全保障理事会をボイコットしていた
9. 韓国の国際関係の改善に関する出来事 a ~ d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- 韓国が国連に加盟した
 - 韓国がソ連と国交を樹立した
 - 韓国が日本との国交を正常化した
 - 韓国大統領が初めて朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）を訪問した
10. 1936年、張学良らが共産党攻撃を促しに来た蒋介石を捕え、内戦停止を説得した事件の名をしるせ。
11. 1927年、蒋介石と対立した国民党左派や共産党メンバーが中心となって成立した政府の所在都市の名をしるせ。
12. 日中国交正常化を実現するための日中共同声明に調印した中華人民共和国の初代首相の名をしるせ。

13. 中華民国政府と日本が国交を正常化するために、1952年に調印した条約の名をしるせ。
14. 建国後の中華人民共和国では政治的混乱が相次ぐとともに、外交関係も緊張した。中ソ対立の一因となったスターリン批判を行ったソ連の首相の名をしるせ。
15. プロレタリア文化大革命において、毛沢東は劉少奇・鄧小平らを修正主義者として非難した。毛沢東が修正主義者を総称するのに用いた語をしるせ。
16. 返還後の香港で採用されている、社会主义国家で資本主義の統治を継続させる方式の名をしるせ。
17. 天安門事件後に解任された趙紫陽に代わって総書記に就任した人物の名をしるせ。
18. イギリスがシンガポール・マラッカとともに1826年に海峡植民地を成立させた拠点の名をしるせ。
19. 1981年から2003年までマレーシアの首相を務め、日本の経済発展に学ぶルック＝イースト政策を実施した人物の名をしるせ。

II. 次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

395年、地中海一帯を支配していたローマ帝国は東西に分割された。この時以降、西ローマ帝国¹⁾と東ローマ帝国という2つのローマ帝国が併存することになる。476年には西ローマ帝国が滅亡したため、東ローマ帝国が唯一のローマ帝国となる。その後15世紀まで継続することになるこの帝国は、しばしばビザンツ帝国とも呼ばれている。

コンスタンティノープルを首府としたビザンツ帝国の初期の歴史では、頻繁に外民族との接触が行われた。6世紀、ユスティニアヌス帝²⁾は、ゲルマン人が盤踞^{ほんきょ}していた西地中海を再征服することで、往事のローマ帝国の版図を一時的に取り戻した。その後ビザンツ帝国は、東部辺境で長年対立していたササン朝ペルシア帝国³⁾には勝利したものの、東地中海では島嶼部のみならず、(イ)パレスチナ、エジプト、北アフリカ、アナトリア東部をイスラーム勢力に奪われ、その版図を小アジア周辺に縮小することを余儀なくされた。

7世紀後半以降、領土自体はかならずしも拡大したわけではないが、辺境統治制度の導入ならびにギリシア語の公用語化による独自の財務行政システムを構築したビザンツ帝国は、バルカン半島南部と小アジア西部を核とした集権体制をつくりあげた。コンスタンティノープルは、商業ネットワーク⁴⁾のひとつとしてヨーロッパ、地中海、ユーラシア各地から集まる商人や外交使節で賑わうとともに、ギリシア正教の総本山として正教文化の発信地⁵⁾の役割も果たした。しかし11世紀以降、セルジュク朝の台頭による境界地域での係争や、軍役奉仕の義務を課す土地制度である(ロ)制の採用による貴族層の権力強化は、ビザンツ帝国の集権体制を弱体化させた。1204年、ビザンツ帝国は、アドリア海の深奥部に位置する都市国家(ハ)が用意した艦隊に乗船した十字軍士による略奪を受けてコンスタンティノープルを喪失し、ボードゥアン1世を新皇帝とするラテン帝国が成立した。

1261年にコンスタンティノープルを奪回したのは、かつてキリスト教世界初の公会議が開催された都市(ニ)に亡命していたパレオロゴス家のミカエル8世である。この時期以降のビザンツ帝国は、帝国として存続はするものの、オスマン朝をはじめとする外部勢力の干渉、皇室の帝位争い、貴族層の抵抗などにより昔日の大帝国への復興はかなわなかった。英仏百年戦争⁶⁾の終結と同年の1453年、コンスタンティノープル陥落により帝国は滅亡した。この時点をもって国家としてのビザンツ帝国は消滅したが、長年にわたり帝国で蓄積された古典古代以来の諸文化は、さまざまな地域⁷⁾で受け継がれ、新しい文化が生成する原動力となつた。

A. 文中の空所(イ)～(ニ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部 1)～7)にそれぞれ対応する次の問1～7に答えよ。

1. 西ローマ帝国に関する次の文を読み、下記の問 i・iiに答えよ。

西ローマ帝国はいったん滅びたものの、800年に、フランク王国のカールの戴冠によって復興された。その後、いったん失われていた西ローマ皇帝位を962年にドイツ王オットー1世が再度復興させた。このオットー1世以降の神聖ローマ皇帝は、ドイツ王国、ブルグント王国、(あ)王国の王位を同時に手中にし、そのうち中世を通じて(あ)政策を熱心にすすめた。1438年以降、オーストリアの領主であったハプスブルク家が帝位を継承した。

i. 文中の空所(あ)にあてはまる適当な語句をしるせ。

ii. 文中の下線部 の家系出身であるフェリペ2世が結婚したイギリンド王室出身の女性の名をしるせ。

2. この人物に関する記述として正しいものを、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. オドアケル治世下にあった北アフリカのヴァンダル王国を征服した

b. テオドリック大王を屈服させ、東ゴート王国を支配下に置いた

c. 法学者トリボニアヌスに命じ、古代ローマの法を集大成した『ローマ法大全』を編纂させた

d. ラヴェンナにあるサン＝マルコ聖堂の壁に、妻とともに肖像画が描かれた

3. この帝国の滅亡後、多くのイラン人が移住した唐では、試験に基づく官僚登用システムが存在した。皇帝太宗が孔穎達に命じて編纂させ、その後この試験の底本になった注釈書の名をしるせ。

4. 北海やバルト海でも12世紀頃に成立したハンザ同盟により商業は盛んとなった。その加盟都市の1つであるブリュージュの繁栄を支えることになった商品を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. 毛織物

b. 穀物

c. 書物

d. ニシン

5. 正教を国教として受け入れなかった国家を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. キエフ公国

b. セルビア王国

c. ハンガリー王国

d. ブルガリア帝国

6. この時期には身分制社会に対する疑問が様々なかたちで噴出したが、「アダムが耕しイヴが紡いだとき、だれが貴族であったか」と説教した下層階級出身の聖職者の名をしるせ。

7. ビザンツ文化の一部を継承した地域の1つであるモスクワ大公国の君主イヴァン4世の拡大政策について、次の問i・iiに答えよ。

i. 彼が併合したモンゴル系国家の名を1つしるせ。

ii. 彼によるシベリア進出の契機をつくったコサックの首長の名をしるせ。

III. 次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

アリストテレスは、ヨーロッパの自然科学において最も権威ある思想家のひとりであった。12世紀に（イ）語やギリシア語からラテン語¹⁾に翻訳されたアリストテレスの諸著作に対し、様々な分野の知識人が解釈をこころみ、大学等で教授することによって、西洋における学問は進展した。

14世紀以降のヨーロッパは、ルネサンス、宗教改革、そして大航海時代という大きな変動を経験した。これらの動きはいずれもヨーロッパの自然科学の理解に大きな変革をもたらした。ルネサンスは、修道院に残されていたり、ビザンツ帝国などから流入した古典古代の文献を正確に復元する流れを生み出した。宗教改革は、聖書の原典言語に立ち返り、世界の理解について宗教的観点からあたらしい解釈を生み出した。大航海時代は、ヨーロッパに、アメリカ、アフリカ、アジアなどから新奇な情報を持ち込むことになった。こうした大きな変動から得られたあたらしい知識をテキストにまとめる作業は、ギリシア・ローマ時代の文献を研究する（ロ）と呼ばれる知識人が担った。彼らは活版印刷の普及と郵便網の発達を背景に、学者の共通言語であるラテン語をもちいて知識の交換を行う文芸共和国とよばれる共同体を生み出した。

（ロ）の活動と社会の変化は、着実に近代の学問を準備した。大きなターニングポイントとなったのは、三十年戦争や魔女狩りといった負の側面が強調されがちな17世紀に展開した（ハ）と呼ばれる知的変化である。この変化は、ニュートンによる実験主義、ペーコンによる経験主義、『方法叙説』の著者（ニ）による演繹法などによって得られる客観的データを重視する近代的合理主義を生み出し、従来、聖書ならびにアリストテレスの理解にしたがって記述されていた世界観に疑問を持たせることになった。こうして自然科学の研究は、古典古代の権威に対する註釈という従来型の研究と切り離され、独自の知的分野として啓蒙主義⁷⁾以降の学問の礎となつた。⁸⁾

A. 文中の空所(イ)～(ニ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～8)にそれぞれ対応する次の問1～8に答えよ。

1. ラテン語で執筆されている作品を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. カンタベリ物語

b. 神学大全

c. 神曲

d. ローランの歌

2. この時代、カール5世との間でヨーロッパの覇権をめぐる戦いを繰り広げ、レオナルド＝ダ＝ヴィンチをフランスに招聘したフランス王を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. アンリ4世

b. シャルル8世

c. フィリップ6世

d. フランソワ1世

3. この時代、教皇庁は、信仰上不適切な内容を含み、人々の目に触れることの許されない著作や著者の一覧を公表した。1559年初めて公表されたこの一覧の名をしるせ。

4. この時代、スペインのコルテスによって征服されたメキシコ高原の王国名をしるせ。

5. 北アメリカにおいて、1682年にフランスが獲得したミシシッピ川流域の広大な地域は何と命名されたか、その名をしるせ。

6. この戦争において、宗教の違いがあるにもかかわらず、フランスと同盟し、ドイツに侵入したスウェーデン王を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. ヴァレンシュタイン

b. カール12世

c. ゲスタフ＝アドルフ

d. マルグレーテ

7. 学者として著名なこの人物は、大法官という最高位の官職につき、国政においても活躍した。かつて同じ地位にあり、「羊が人を食う」という表現で当時の社会を風刺する作品を著したが、ヘンリ8世の離婚に反対し、処刑された人物の名をしるせ。

8. フランス文化を愛好し、ヴォルテールとの文通を通じて自国の後進性を改革しようとしたロシアの啓蒙専制君主の名をしるせ。

【以下余白】

